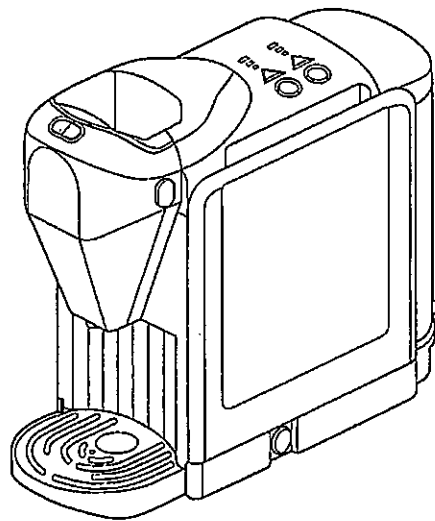


液みそ専用 自動みそ汁マシン  
**MS-101**  
**取扱説明書**



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。  
 特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。

**保証書付** 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず記入をお受けください。



●もくじ

安全上のご注意	1・2	使いかた	10・11
同梱物を確認しましょう	3	お手入れ	11～13
各部の名称とはたらき	4・5	こんなときは	13
最初のご使用の前に	5・6	アフターサービス	14
準備	7～9	仕様	



# 安全上のご注意 必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## ●表示の説明

 <b>警告</b> 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 <b>注意</b> 「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。
---	---

## ●図記号の説明

 は、してはいけない「禁止」の内容です。	 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	--

## 警告



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

修理は、お買い上げの販売店または、「マルコメお客様係」にご相談ください。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたり、水道の蛇口から直接本体に水を入れないでください。

本体内部に水が入り、ショート・感電の恐れがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



水場での使用禁止

湿気が多い場所・水のかかる場所の近くでは使用しないでください。

感電や火災の原因になります。



強制

じゅうたんなどの上や、傾斜した場所や高い場所など不安定な場所に置かないでください。

転倒すると誤動作や、熱湯がこぼれたり、やけどの原因になります。



禁止

屋外で使用しないでください。

ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。

感電・けが・やけどの原因になります。



強制

定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使ってください。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



強制

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

感電や発熱により火災の原因になります。



強制

電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取ってください。

火災の原因になります。



強制

異常・故障時はただちに使用を中止してください。

電源プラグを抜いて、販売店または、「マルコメお客様係」に点検・修理を依頼してください。



禁止

暖房器具、ガス器具などの真上やその付近などの温度の高い場所では、使用しないでください。

故障や発火、誤動作などの原因になることがあります。

(この製品は5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)



強制

壁や家具の近くでは使用しないでください。

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

## 警告



製品を転倒させないでください。  
お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



液みそボトルを交換するときは、ボトル・アタッチメントのお手入れを行ってください。

異味・異臭の原因になります。



使用中はボトルドアを開けたまま使用しないでください。

けがや故障の原因になります。



給湯するときは、手などにお湯がかからないよう注意してください。

やけどの原因になります。



接触禁止

ボトル・アタッチメントの内側や液みそボトルの口には手を触れないでください。

中身や製品が不衛生になります。



液みそは、2週間を目安になるべく早めに使用してください。



本体を移動させるときは、両手で本体の底をしっかりとってください。

落下によるけがや、故障の原因になります。

## 注意



直射日光の当たる場所や温度が高くなる場所で使わないでください。

変色・変質・故障の原因になります。



傾けたり、ゆすったりしないでください。

湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

断線したり、感電やショートして発火することがあります。



液みそボトルは、マルコメ商品の液みそボトルを使用してください。

故障や液漏れや事故の原因になります。「マルコメの商品」を必ず使用してください。



30℃以上のお湯を絶対に入れないでください。

ふきこぼれによるやけどの原因になります。



滴受け・皿をはずしたまま使用しないでください。滴受けは、中身のたれ・出水のたれなどを受けるものです。

周辺を汚したりする恐れがあります。



水を入れた水タンクをセットしたまま、本体を移動させないでください。

水がこぼれたりして汚損の原因になります。



本体の上に物を置かないでください。

落下によるけがや、やけど、故障の原因になります。



お手入れは、本体が熱くないことを確認してから行ってください。

やけどの原因になります。



プラグをコンセントから抜く

使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

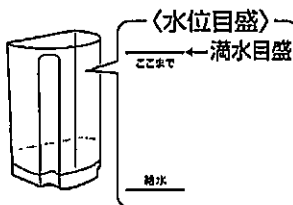


水タンクに水以外のものを入れないでください。

故障の原因になります。



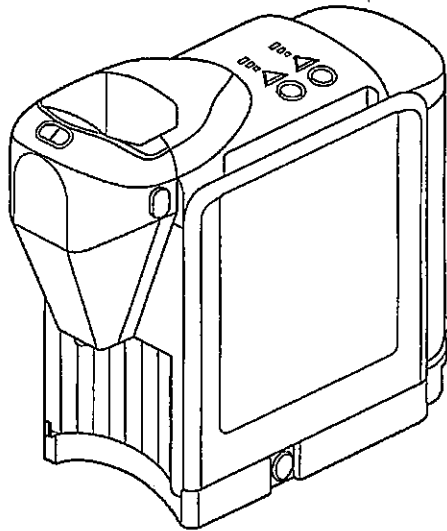
滴水目盛「ここまで」の線以上の水を入れないでください。



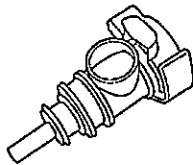
水タンク装着時などに、水がこぼれたりして汚損の原因になります。

# ☺ 同梱物を確認しましょう

本体 …1



ボトル・アタッチメント …1



保管用ボトル・アタッチメントキャップ …1

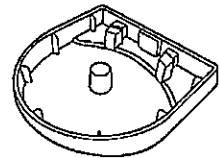


保管のときにボトルアタッチメントの先端に取付けます。

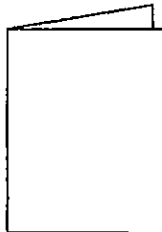
目皿 …1



滴受け …1



取扱説明書(本書) …1

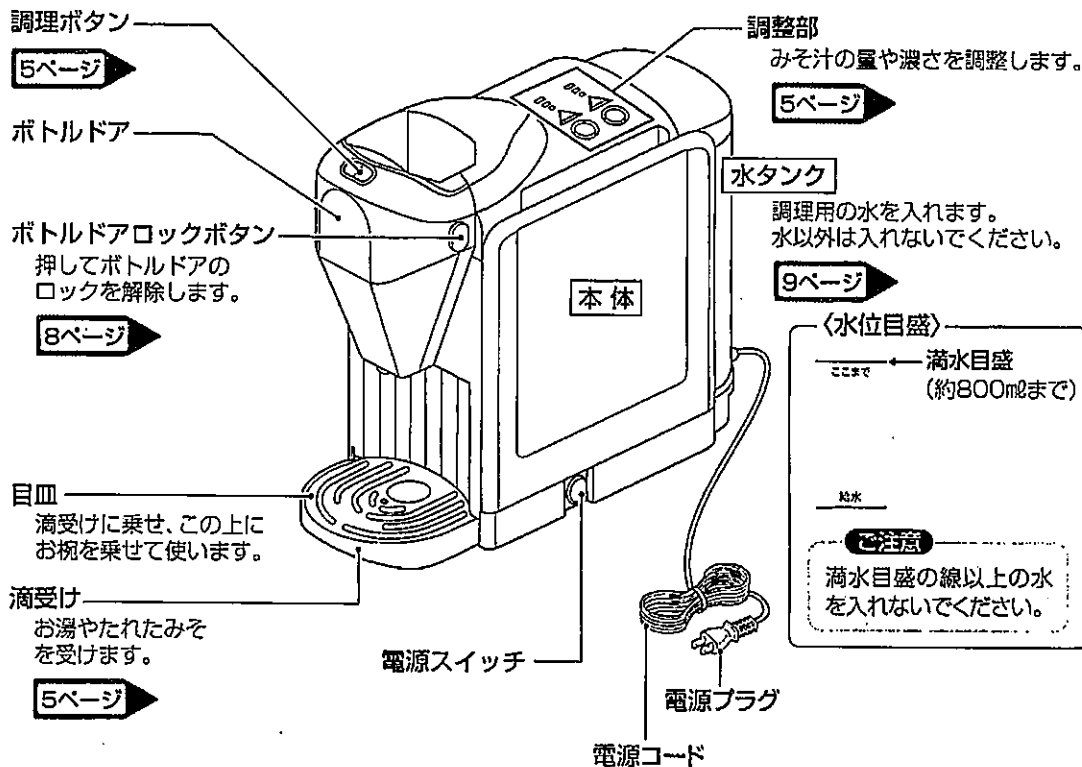


簡易マニュアル …1



# 各部の名称とはたらき

- 本製品は「液みそ」を使い、みそ汁を調理する製品です。
- お好みに合わせて、みそ汁の量や濃さを変えることができます。



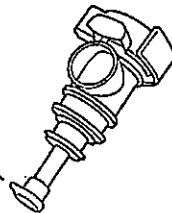
## ボトル・アタッチメント

液みそボトルに取付けて使います。 **7ページ**

！「液みそ」は付属しておりません。市販のマルコメ「液みそ」をお買い求めください。

保管用ボトル・アタッチメントキャップ

保管用ボトル・アタッチメントキャップは、本体に取付ける前にはずしてください。取付けたままでは本体に取付け出来ません。



### 注意

ボトル・アタッチメントの先端は、無理に引っ張ったりしないでください。内部部品がはずれて故障の原因になります。

## 各部の名称とはたらき(つづき)

### 調整部

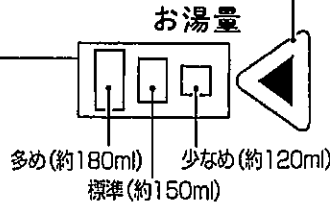
お湯や液みその量を選択して出来上りの量や濃さを設定したり、調理後にお湯や液みそを足して調整することができます。

お湯量調整ボタン

お湯の量を調整します。

お湯量表示ランプ

お湯量の設定に応じたランプが点灯します。



お湯足しボタン

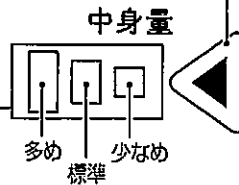
少しだけお湯を足したいときに長めに押します。1回押すと、約25mlのお湯が出ます。

中身量調整ボタン

中身(液みそ)の量を調整します。

中身量表示ランプ

中身量の設定に応じたランプが点灯します。



味噌足しボタン

少しだけ味噌を足したいときに長めに押します。1回押すと、約2gの味噌が出ます。

！中身量は、お湯量の設定に応じた分量で注出されます。

14ページ

〈注出量の目安〉

### 調理ボタン

みそ汁を作るとき、または、節電モードから復帰するときに使います。

調理中に押すと、調理をやめて停止します。

発光のしかたによって、製品の状態をお知らせします。



緑色点灯・・・予熱完了。

みそ汁を作ることが出来ます。調理中は、ゆっくりと点滅します。

赤色点灯・・・予熱中。

消 灯・・・節電モード中。

11ページ

## 最初のご使用の前に

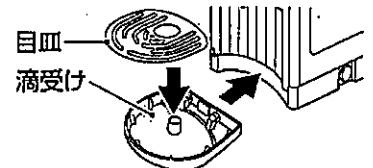
購入後初めて使用するときは、必ず次の手順で内部のすすぎを行ってください。

1 水タンクに給水して本体に取付けます。9ページ

2 滴受けを取付けます。

目皿を滴受けの上に置き、本体に取付けます。

〈滴受けの取付けかた〉



〈滴受けの取りはずしかた〉

手前に引いて取りはずします。

**3** 電源プラグをコンセントに差し込みます。

**4** 電源を入れます。



電源スイッチの「I」側を押します。

**5** 予熱開始。

ビピッ



赤色に点灯

「ビピッ」と音がして、調理ボタンが「赤色」に点灯します。

**6** 予熱完了。

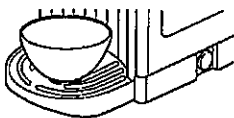
ピー



緑色に点灯

約1分経過後に「ピー」音がして、調理ボタンが「緑色」に点灯します。

**7** お椀を目皿の上に置きます。



**8** 調理ボタンを押し、お湯を排出します。



お湯の排出が終わったらお椀のお湯を捨てます。

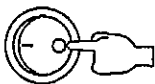


**9** 手順**7**～**8**の動作を3回繰り返します。

**10** 水タンクの水を捨てます。

水タンクに残っている水を全て捨てます。

**11** 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



電源スイッチの「O」部分を押します。

●内部のすすぎを行う際のお湯量は、標準・多め・少なめのいずれかでない限り、お湯の排出中は調理ボタンが緑色でゆっくりと点滅します。

●お湯の排出が終わると、調理ボタンが緑色点灯になり、「ピー」×3と音がします。

お湯の排出が終わると、調理ボタンが緑色点灯になり、「ピー」×3と音がします。

これで内部のすすぎは完了です

# 準備

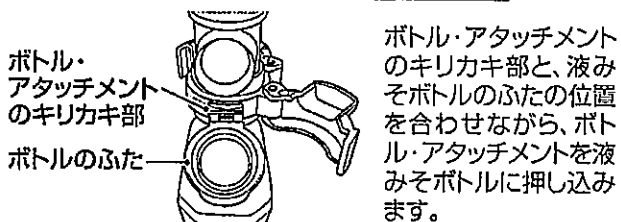
## Step 1 ボトル・アタッチメントを液みそボトルに取付ける

### ご注意

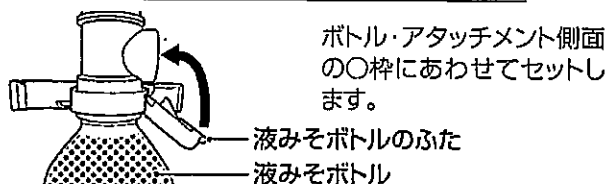
ボトル・アタッチメントを着脱するときは、液みそが周囲に飛び散る恐れがありますので、流し台の中などで行ってください。

1 液みそボトルを良く振ったあと、中栓を開けます。

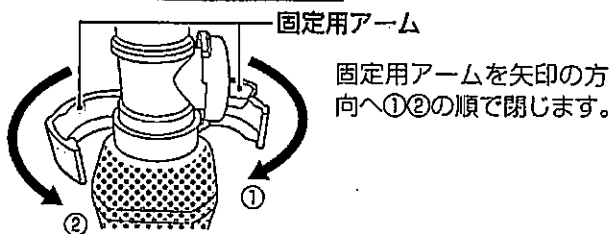
2 ボトル・アタッチメントを取付けます。



3 液みそボトルのキャップをボトル・アタッチメントにセットします。

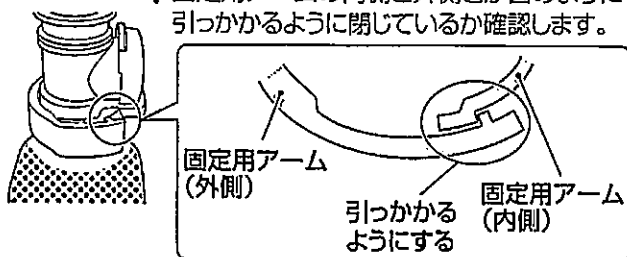


4 固定用アームを閉じます。



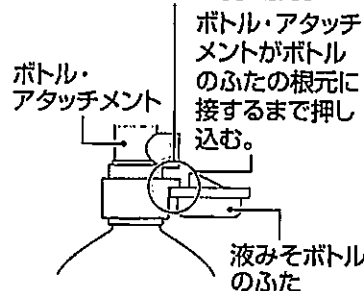
5 取付け完了。

！固定用アームの内側と外側とが図のように引っかかるように閉じているか確認します。



### お願い

ボトル・アタッチメントは液みそボトルのふたに接するまでしっかり押し込んでください。固定用アームを閉じることができません。



### ご注意

ボトル・アタッチメントの先端を手などで押したり引いたりして動かさないでください。液みそが排出されて汚損の原因になります。



## Step2 ボトル・アタッチメントを本体に取付ける

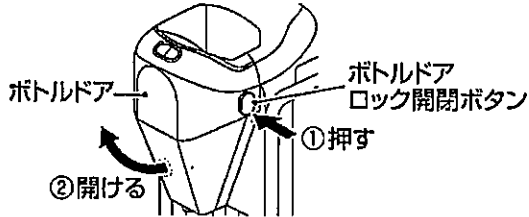
【ご注意】

先に液みそボトルにボトル・アタッチメントを取付けてください。

7ページ

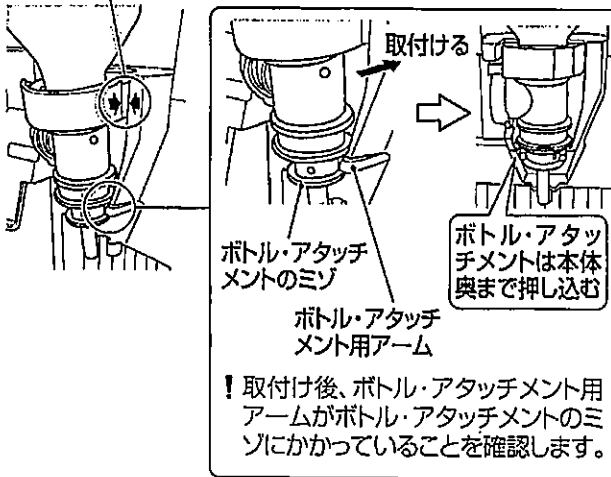
### 1 ボトルドアを開けます。

ボトルドアロックボタンを押しながら開けます。



### 2 ボトル・アタッチメントを取付けます。

ボトル・アタッチメントの「➡」と本体の「⬅」を合わせて取付けます。



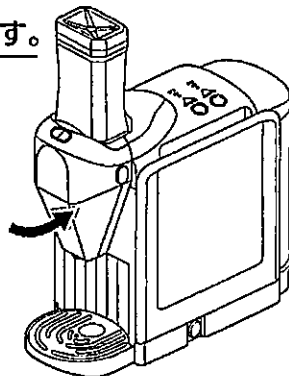
【お知らせ】

保管用ボトル・アタッチメントキャップは取りはずしてください。取付けたままでは本体に取付けできません。

【ご注意】

ボトル・アタッチメントの先端を手などで引いたり押ししたり引いたりして動かさないでください。液みそが排出されて汚損の原因になります。

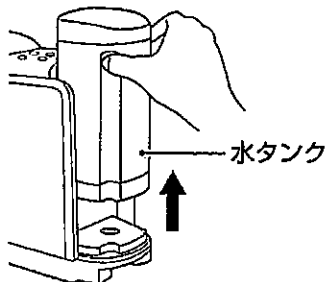
### 3 ボトルドアを閉じます。



# 準備(つづき)

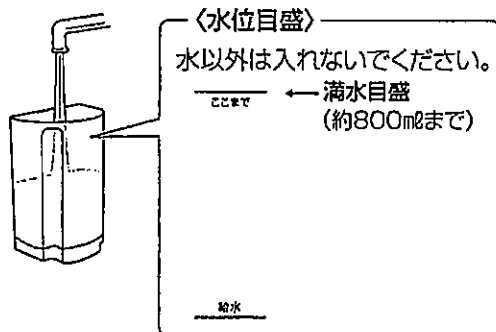
## Step3 水タンクへ給水する

- 1 水タンクを本体から取りはずします。

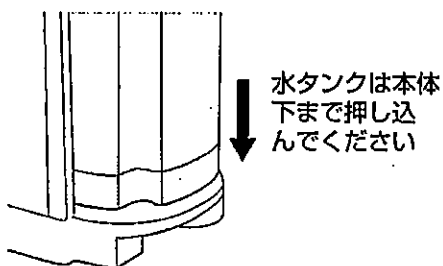


- 2 給水します。

ふたをはずして給水し、ふたをします。



- 3 水タンクを装着します。



### ご注意

水タンクへ給水するときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、本体から水タンクを取りはずして行ってください。

### ご注意

満水目盛の線以上の水を入れしないでください。

### お願い

水タンクは本体下まで押し込んでください。装着が不十分ですと、ご使用中に水タンクが倒れたりする場合があります。

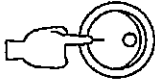
これで準備完了です

# ● 使いかた

1 滴受けを取付けます。 **5ページ**

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 電源を入れます。



電源スイッチの「I」側を押します。

4 予熱開始。



赤色に点灯

「ピピッ」と音がして、調理ボタンが「赤色」に点灯します。

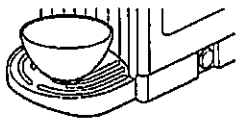
5 予熱完了。



緑色に点灯

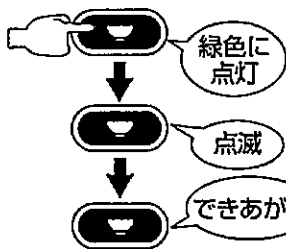
約1分経過後に「ピー」音がして、調理ボタンが「緑色」に点灯します。

6 お椀を目皿の上に置きます。



お好みで具材を入れます。

7 みそ汁の調理をします。



緑色に点灯

点滅

できあがり

動作中は調理ボタンが緑でゆっくりと点滅します。

調理ボタンが緑色点灯になり、「ピー」×3と音がします。

8 ご使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。



電源スイッチの「O」部分を押しします。

## 〈みそ汁の調整〉

お湯や液みその量を選択して出来上がり  
の量や濃さを設定したり、調理後にお湯や  
液みそを足して調整することができます。

### ■ お湯量の設定

お湯の量を標準(約150ml)、多め(約180ml)、少なめ(約120ml)に設定できます。お湯量調整ボタンを押し、お湯量を設定します。押すごとに切り替わります。

標準(約150ml)→多め(約180ml)→少なめ(約120ml)

### ■ 中身量の設定

中身(液みそ)の量を標準、多め、少なめに設定できます。押すごとに切り替わります。

標準→多め→少なめ

！中身量は、お湯量の設定に応じた分量で注出されます。

**14ページ** 〈注出量の目安〉

### ■ お湯を足す

お湯足しボタンを押すと、1回約25mlのお湯を足すことができます。

### ■ 液みそを足す

味噌足しボタンを押すと、1回約2gの液みそを足すことができます。

## お知らせ

工場出荷時は、  
「お湯量(赤ランプ)：標準(約150ml)」、  
「中身量(オレンジランプ)：標準(約18g)」  
に設定されています。

### 美味しいみそ汁の条件！

#### 極式(さわみしき)

みそ汁を美味しくする“ひと煮立ち”を創り出すために、マルコメが開発した「極式」が美味しい1分間を演出します。(特許出願中)

## お願い

ボトル・アタッチメントを取付けたあとの1回目は、液みその注出が安定しないことがあります。味噌足しボタンで調整してください。

## ご注意

給水は本体から水タンクを取りはずして行ってください。水タンクを取付けたまま水を注ぎ足しすると誤って本体に水をかけてしまうことがあり、ショート・感電の恐れがあります。

## 〈調理を中止する〉

調理中に調理ボタンを押します。「ピー」音がして、調理ボタンが緑点灯(予熱中)になります。

## 🍵 使いかた(つづき)

### 空だき防止機能について

水が入っていない状態で調理を開始すると、お湯量表示ランプが3個とも点滅して、自動で動作を停止します。  
(空だき防止機能をリセット(解除)する)  
電源を切り、水タンクを取りはずして給水した後、再度電源を入れてください。

### 節電モード機能について

操作されないまま約10分経過すると、調理ボタンが消灯し、自動で動作を停止します。  
(節電モード機能をリセット(解除)する)  
調理ボタンを押してください。

### メモリー機能について

ご使用後に再びお使いになるときは、前の設定状態で動作します。

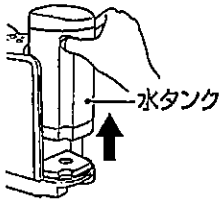


## 🍵 お手入れ

### ご注意

お手入れは必ず電源プラグを抜き、残り水を捨て、本体が冷めてからおこなってください。

### 保管前の排水処理について(ドレイン機能)

保管するときは、排水処理を必ず行ってください。

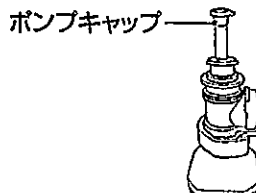
- ① 水タンクを本体からはずします。  

- ② 電源を入れます。  
  
電源スイッチの「-」部分を押しします。
- ③ お椀を目皿の上に置きます。
- ④ お湯足しボタンを長押し(約2秒)します。  

- ⑤ 「ピピッ」と音がして約5秒動作し、本体内部に残った水分を排出します。

### ご注意

排出された水が飛び散ることがあります。

### 液みその保管について

ボトルドアを開け、ボトル・アタッチメントごと取り出してください。ボトル・アタッチメントを取付けたまま冷蔵庫に入れて保存することができます。  
先端に、付属のポンプキャップを取付けてください。  
(液みその乾燥や異物混入を防ぐため)



### タンク・目皿・滴受けのお手入れ

食器用中性洗剤などで水洗いをしてください。  
たわしなどで強くこすると傷がつきます。水洗いしたあとは、風通しの良い場所に置き、乾燥させてください。

### ご注意

食器洗浄機や40℃以上のお湯で洗浄しないでください。変形したり故障の原因になります。

## ボトル・アタッチメントのお手入れ

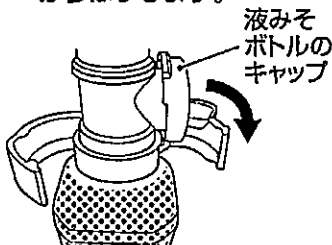
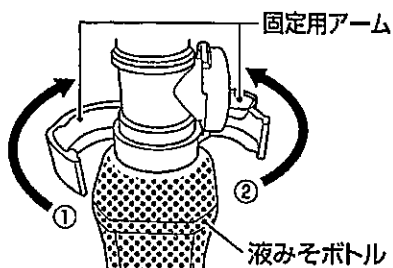
ボトル・アタッチメントを次の手順で取りはずして洗浄してください。

### 【注意】

ボトル・アタッチメントを着脱するときは、液みそが周囲に飛び散る恐れがあります。流し台の中などで行ってください。

## 1 ボトル・アタッチメントを取りはずします。

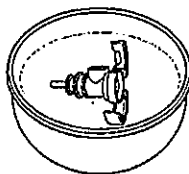
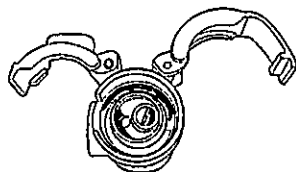
- ① 固定用アームを矢印の方向にはずします。
- ② 液みそボトルのキャップをボトル・アタッチメントからはずします。
- ③ ボトル・アタッチメントを上へ引いて取りはずします。



取りはずしたあとの液みそについて  
中身が残っている場合は液みそボトルのキャップを閉め、冷蔵庫で保管してください。

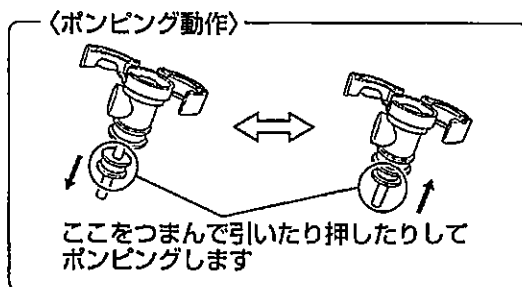
## 2 ボトル・アタッチメントを洗浄します。

- ① ボトル・アタッチメントの取付け口に固まった液みそが残っていることがあります。スプーンなどで取り除いてください。
- ② ボトル・アタッチメントを30~40℃くらいのぬるま湯の中で、ポンピング動作を行って内部の洗浄をします。



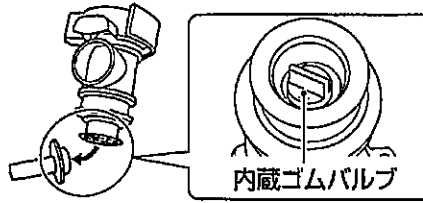
排出する水がきれいになるまで洗浄します。

- ③ ボトル・アタッチメントを外に取り出し、②と同様にポンピング動作を行って、内部に残った水分を排出します。

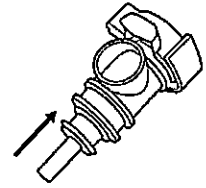


## 🍵 お手入れ(つづき)

- ④ 先端をたおすようにして取りはずし、内蔵のゴムバルブ周辺を、洗浄することが出来ます。



- ⑤ 洗浄したら、先端を押し込んで取付けます。



！内蔵のゴムバルブは取りはずさないでください。  
破損や故障の原因になります。

- 乾いたタオルなどで水分をしっかりとふき取り、風通しの良い場所に置いて乾燥させます。
- 再度ご使用になる場合は、ボトル・アタッチメントを液みそボトルへ取付けてください。

▶7ページ▶

## 🍵 こんなときは

修理・サービスをお申し付けになる前に下記の点をお調べください。

こんなときは？	調べるところ	処 置
電源が入らない。	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	電源プラグをコンセントにきちんと差し込んでください。
	電源が切れていませんか？	電源スイッチの「-」側を押して電源を入れてください。
調理ボタンを押しても調理が開始しない。	予熱中(調理ボタンが赤色に点灯)ではありませんか？	予熱が完了(調理ボタンが緑色に点灯)するまで待った後、調理してください。
	節電モード中(調理ボタンが消灯)ではありませんか？	調理ボタンを押し、予熱が完了(調理ボタンが赤色から緑色に変化)するまで待った後、調理してください。
	水タンクに水が入っていますか？	水タンクに給水してください。
	水タンクが本体に確実にセットされていますか？	水タンクを本体に確実にセットしてください。
通電中に調理ボタンが消灯する。	本製品は、10分間操作されないと、「節電モード」になり、調理ボタンが消灯します。復帰するには、調理ボタンを再度押してください。予熱完了後、再びお使いになれます。	
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか？	水タンクに給水してください。
	水タンクが本体に確実にセットされていますか？	水タンクを本体に確実にセットしてください。
お味噌が出ない。	液みそボトルにお味噌が入っていますか？	新しい液みそボトルに交換してください。
	液みそボトルがボトル・アタッチメントに確実にセットされていますか？	液みそボトルをボトル・アタッチメントに確実にセットしてください。
ポコポコ音がする。	調理中に水の音がすることがあります。異常ではありません。	
誤って本体に水をかけてしまった。	事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	

### 〈エラー表示〉

お湯量表示ランプが全て点滅している。	水タンクに水が入っていますか？	電源を切り、水タンクに給水してください。
	ボトル・アタッチメントが本体に確実にセットされていますか？	ボトル・アタッチメントを本体に確実にセットしてください。 →7・8ページ

# アフターサービス

## 1.保証書

- 裏表紙に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

## 2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。  
 なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

## 3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときには電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「マルコメお客様係」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理  
 保証書の規定により無料修理します。  
 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「マルコメお客様係」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理  
 修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「マルコメお客様係」にご相談ください。

## 4.補修用性能部品の最低保有期間

- この液みそ専用自動みそ汁マシンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 5.アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「マルコメお客様係」にお問い合わせください。

### 〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

### 〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

マルコメお客様係  
 フリーダイヤル 0120-050-379  
 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)  
<http://www.marukome.co.jp>

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

# 仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	850W
水タンク容量(約)	800ml
製 品 寸 法(約)	幅130×奥行330×高さ270mm
電 源 コード(約)	1.4m
製 品 質 量(約)	2.8kg

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

### 〈注出量の目安〉

！中身量は、お湯量の設定に応じた分量で注出されます。

お湯量 (出来上がり量)	中身量(濃さ)	少なめ(うすい)	標準(ふつう)	多め(濃い)
多め/約180ml(多い)		約20g	約22g	約24g
標準/約150ml(ふつう)		約16g	約18g	約20g
少なめ/約120ml(少ない)		約12g	約14g	約16g

### ★長年ご使用の液みそ専用自動みそ汁マシンの点検を！

#### 愛情点検



ご使用の際このようなことはありませんか。

- 水もれする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、使用中を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店またはマルコメにご相談ください。

# 液みそ専用 自動みそ汁マシン 保証書

形名	MS-101	※お買い上げ日		保証期間
		年	月	日
※お客様	ご住所	〒 _____ 番 _____ 様方		
	フリガナ ご芳名	_____ 様		
※販売店	住所 店名	〒 _____ 番 _____ 様		

※印欄にご記入のない場合有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にしたがって正しいご使用のもとで故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間内に故障が発生したときは、本書と製品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障及び損傷。
  - お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障および損傷。
  - 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)で生じた故障および損傷。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書に、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
  - 一般家庭用以外(たとえば業務用など)にご使用の場合の故障および損傷。
  - ご使用によるキズ、変色、汚れ、および保管上の不備による損傷。
  - 消耗部品の交換。
- 出張修理をご依頼の場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、下記「マルコメお客様係」へ、ご相談ください。

## 修理メモ

- お客様にご記入いただいた保証書(個人情報)は、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「マルコメお客様係」に、お問い合わせください。

販売者: **マルコメ株式会社**

〒380-0943 長野県長野市安茂里883

「マルコメお客様係」0120-050-379

9:00~17:00(土・日・祝日を除く) <http://www.marukome.co.jp>

RX1312D